

講義ユニット名	感染症		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	おおげ ひろき	所属	感染症科	
	大毛 宏喜			
講義ユニット コーディネーター		所属		
		メール		
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概要	<p>感染症はウイルス、細菌、寄生虫、原虫、リケッチアなどの起炎菌が体内の各臓器に感染して発症する。日常臨床においては、臨床医が必ず遭遇する疾患であり、正しい感染症の診断、治療についての知識を修得する必要がある。</p> <p>本ユニットの講義では、診療科や臓器に関係なく、感染症への理解を深めて、臨床医として必要な基本的知識を確立することを目指す。</p>			
講義ユニットの 到達目標	<p>敗血症の症候と診断と治療を説明できる。</p> <p>市中感染症と院内（病院）感染症を説明できる。</p> <p>医療器具関連感染症（血管留置カテーテル、尿道カテーテル、人工呼吸器）、術後感染症、手術部位感染症、を説明できる。</p> <p>薬剤耐性 (antimicrobial resistance <AMR>)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌 (Methicillin-resistant Staphylococcus aureus <MRSA>)、バンコマイシン耐性腸球菌 (vancomycin-resistant Enterococci <VRE>)、基質特異性拡張型βラクタマーゼ (extended spectrum beta-lactamase <ESBL>) 産生 Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等) を概説できる。</p> <p>コロナイゼーションと感染症発症の違いを説明できる。</p> <p>コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。</p> <p>新興・再興感染症（中東呼吸器症候群 (Middle East respiratory syndrome <MERS>)、ジカ熱、劇症型 A 群レンサ球菌感染症等）、人獣共通感染症、パイオテロに関連する感染症を列挙できる。</p> <p>各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見を説明できる。</p> <p>ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査を説明できる。</p> <p>細菌感染症診断における直接塗抹、Gram 染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる</p> <p>真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。</p> <p>病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。</p> <p>抗菌薬適正使用 (antimicrobial stewardship <AMS>) を説明できる。</p> <p>予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。</p> <p>感染症法を概説できる。</p> <p>インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。</p> <p>ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症の症候と診断と治療及び感染対策を説明できる。</p> <p>単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核 (球) 症を説明できる。</p> <p>サイトメガロウイルス (CMV) 感染症を説明できる。</p> <p>ヒト T 細胞白血病ウイルス (human T-cell leukemia virus type 1 <HTLV-I>) 感染症を説明できる。</p> <p>黄色ブドウ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。</p> <p>A 群β溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。</p> <p>肺炎球菌感染症の症候と診断と治療と予防法を説明できる。</p> <p>インフルエンザ (桿) 菌感染症と Moraxella catarrhalis 感染症を説明できる。</p> <p>緑膿菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。</p> <p>大腸菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。</p> <p>Clostridium difficile 感染症の症候と診断と治療を説明できる。</p> <p>結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。</p> <p>マイコプラズマ感染症を説明できる。</p>			

レジオネラ感染症を説明できる。
リケッチア感染症を説明できる。
カンピロバクター、サルモネラ、リステリア感染症を説明できる。

<p>講義ユニットの到達目標</p>	<p>ニューモシスチス肺炎の症候と診断と治療を説明できる。 主な原虫感染症（マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢）を説明できる。 急性・慢性腎盂腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。 性感染症の原因微生物を説明できる。 梅毒の症候と診断と治療を説明できる。 新型コロナウイルス感染症の症候と診断と治療を説明できる。 標準予防策、接触感染予防策を説明・実践できる。</p>
<p>講義日程</p>	<p>別紙日程表を参照のこと</p>
<p>出席の取り扱い</p>	<p>出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。オンライン参加の出席確認方法は別途通知する。 3分の2以上の出席がない場合は本試験の受験資格を与えない。</p>
<p>評価項目</p>	<p>到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）</p>
<p>評価法</p>	<p>MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は基本的には絶対基準とするが、一定の条件を満たした時（得点率60%未満の受験者が総受験者の10%を超える場合）には相対基準を適用する。相対基準は、平均得点－(1～2)×標準偏差とする。</p>
<p>推奨参考書</p>	<p>【購入を推奨する参考書】 標準感染症学（医学書院） Harrison's principles of Internal Medicine ハリソン内科学（MEDSI）感染症</p>